

(別紙5)

整理番号 2022P-164
補助事業名 2022年度引きこもり・不登校・生活困窮者・LGBTQやジェンダーの実現に向けた支援活動補助事業
補助事業者名 公益社団法人青少年健康センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「ひきこもり等生きづらさを抱えた方々やそのご家族が、いきいきと社会参加、生活できると社会」を目指すため電話相談・相談/居場所支援・普及啓発活動等を実施しています。

(2) 実施内容

齋藤環氏実施「ひきこもり対策講座 Q&A集」の作成

<https://skc-net.or.jp/wp-content/uploads/2023/05/8d0ed6b2a15b465820a85d0726cb0587.pdf>

1998年より原則月一回実施している「ひきこもり対策講座（現ひきこもりダイアログ講座）」では、毎回、講師の齋藤環氏が、受講者であるひきこもりを抱える家族や当事者からの質問に答える質疑応答の時間をとっています。質問内容は、普遍的なものから時代背景を反映するものまで多岐に渡り、様々な事情を抱える家族から、毎月多くの質問が寄せられています。本事業では20年余りの講座実績で蓄積された2,000問以上の質疑応答の中から、現代にも適応できるものを選定し、系統立てて約100ページのQ&A集にまとめた冊子の作成を実施いたしました。

ひきこもりに悩む家族や当事者の嘆きや焦り、虚しさが事実に沿って記載されるよう努める一方で、センシティブな個人情報を含む質問の場合には、個人が特定されないように内容に手を加え、読者には、当講座に参加したことのないひきこもりを抱える家族や当事者、ひきこもりへの知識や見識のない一般の読者も想定し、分かりやすさを心がけ制作をいたしました。

2 予想される事業実施効果

従来から会員だった方には振り返るきっかけを作り、新規会員の方々には今までの幅広い対応についての質疑を確認できることで、初回から講座への理解度あげることが可能となったと考えています。今回の冊子より基本的な質問内容は網羅できたことにより、通常の講座で行われる質疑の時間がより内容の濃いものに変化していくことを期待しています。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの



事業作成冊子

タイトル：斎藤環が応えるひきこもり家族からのよくある質問とその回答

ページ数：100P

発行部数：1,000部

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

- ・当法人機関紙「ニュースレター」No. 58（現在作成中・2022年夏期500部発行予定）
法人HPに掲載 <https://skc-net.or.jp/report>
- ・Facebookにて開催報告
<https://ja-jp.facebook.com/YSCPIIS/>

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人青少年健康センター

(コウエキシャダンホウジンセイショウネンケンコウセンター)

住 所： 〒112-0006

東京都文京区小日向4-5-8 三軒町ビル

代 表 者： 代表理事 斎藤環 (サイトウタマキ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長補佐 鈴木隆之 (スズキタカユキ)

電 話 番 号： 03-3947-7636

F A X： 03-3947-0766

E - m a i l： info@skc-net.or.jp

U R L： <https://skc-net.or.jp/>